

もっと 知ろう

みんなの議会



中城村

議会だより

題字：中城中学校1年 金城湧人 ゆうと



輝ける酉年のシニアパワー!!



Vol. 50

写真
中城村
老人文化作品展会

RH-500

一般質問

※質問者が会議録から要約した原稿を編集しています。



金城 章 議員

浜漁港内公園整備

議員 浜漁港内の公園は雑草が生い茂って除草が追いつかず見苦しいが、管理計画をしっかりと決め、芝生の植え替えをして、壊れた東屋も修繕し、きれいな公園整備をする計画はあるか。

農林水産課長 公園内の草刈りはこれまで何度か行ってきたとおりです。今後この様な管理では厳しいものがあると思いますので、やはり芝生を張り替えて、この芝生を管理していきたいと考えております。ただ、やはり予算が高額になりますので、年次的に部分的なもので張り替えについて検討したいと考えております。また休憩施設の東屋については天井、梁部分のコンクリート剥離が起きて



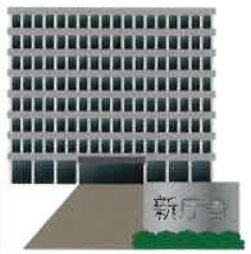
おり、危険であるため現在使用を禁止しております。今後、専門の業者にも相談し改修方法等について検討をしたいと考えております。

議員 漁港周辺の道路に接する施設管理フェンスの腐食が多くあり危険な状況であるが、取り換え修繕の計画はあるか。

農林水産課長 フェンスについては、これまで台風等で倒壊した部分については改修と行っており、現在の状況を調査し腐食等による倒壊のおそれのある部分については、改修等を検討したいと考えております。

議員 倒壊する前に早目の修繕をしていただきたいです。

庁舎建設



議員 庁舎建設場所の地権者の承諾は得られたか、また、設計も早目に進め住民説明も終え、29年度中の建設工事の着手を早目に行えるか。

村長 庁舎建設については場所選定も終わり、実施設計をやっていくところです。現在のいい具合に推移しておりますので、早目見目にやるべきものと認識しております。

総務課長 基本設計計画ですけれども平成29年5月に基本設計、それから29年末に実施設計を終了したいと考えております。

議員 早目に新庁舎が完成するよう願っております。

他に各種イベントについて、健康食育取り組みの質問もありました。



比嘉 麻乃 議員

子育て支援

議員 本村は現在就学前まで通院医療費無料ですが、さらなる子育て支援として中学校卒業までの無料化の考えはあるか。

村長 4月からの実施に向けて財政の検討と調整を行っているところです。

議員 現在本村は子供医療費を医療機関の窓口で一度支払い、後日口座へと払い戻しを受ける仕組みとなつているが、今後窓口無料化あるいは立て替えが困難な世帯へのことも医療費貸付制度の考えはないか。

健康保険課長 窓口無料化にした場合、国庫負担金の減額があるため現段階では考えておりませんが、国における減額調整制度の見直しの話しもあるるのでその辺を注視して

護佐丸バス70歳以上の運賃無料化

議員 全国的に高齢者の運転による交通事故が多発しています。高齢運転者のハンドルを手放すを促すために70歳以上に對し護佐丸バスの運賃を無料化にしてはどうか。

企画課長 無料化の提案につきましては理解できませんが、民間バス運行事業者の理解、地域公共交通協議会での議論、沖繩総合事務局の許可の関係からすぐの実施は困難であると考えております。

奥間南上原線の舗装工事 議員 村道奥間南上原線の凹凸が酷くハンドルが取られ危険です。重大事故が起る前に改善の余地はないか。

都市建設課長 奥間南上原線は改良が必要と判断



し、29年度予算を確保して参りたいと思います。全長となりますとかなりの費用がかかるので凹凸の酷い箇所から改良して参ります。

中城中学校修学旅行 議員 中城中学校の修学旅行はこれまで二年生で実施されていたが、平成28年度より三年生の12月の実施となりました。12月は高校入試の三ヶ月前で大切な時期です。保護者からの強い要望もあり、二年生の実施に戻す考えはないか伺います。

教育長 29年度の修学旅行まで契約がなされているので、早くても30年度から二年生に戻すという事を校長と話し合いたいと考えております。



新垣 博正 議員

無形文化財への育成、支援策は

無形文化財を正しく後世に保存、継承していくにはそれ相応にエネルギーを使います。出演機会が多くなればなるほど負担が増し保存団体の自助努力には限界があり県や村当局から通年の支援策が必要と考えるが所見を伺います。

議員 無形文化財を正しく後世に保存、継承していくにはそれ相応にエネルギーを使います。出演機会が多くなればなるほど負担が増し保存団体の自助努力には限界があり県や村当局から通年の支援策が必要と考えるが所見を伺います。

教育長 補助金を含む直接的な育成、支援は今のところおこなっておりません。自治会運営補助金の中で歴史、文化活動費として活用いただけるものと理解しております。育成の一環として各種イベントや護佐丸まつりに出演の機会を与えそれに伴う出演謝礼金での助成は実施しております。

議員 本村に保存、継承

されている県指定無形文化財として伊集の「打花鼓」、村指定として津朝の「獅子舞」がありますが、指定を受けている芸能と未指定で継承されている芸能への育成支援策に違いはありますか。

生涯学習課長 保存団体への直接的な補助金がありませんので今のところ違いはありません。指定を受けることによる「格式」に違いがあり、出演依頼の立場も違ってくるものと思います。

議員 伝承する人材に対し誇りを持つて保存継承していくために「伝統芸能保持者認定証」を与える考えはないか。

村長 ユニークな発想で伝統芸能に関わる方々にモチベーションを高める意味ではいい影響を与えると考えます。教育委員会と協議を持ちたいと思います。

学校現場での教職員勤務時間管理

議員 ①県人事委員会から「2016 勧告」による勤務条件改善の要請をどのように受け止めているか。②「適正な勤務環境の確保に向けタイムカード等の勤務管理システム」の導入に向け実効性のある具体的に取り組みを進める必要がある。旨の指摘がなされているが、対応策を伺う。③超過勤務実態記録の3年保存が義務付けされているが徹底されているか。

議員 労働基準法には罰則もあります。何よりも超過勤務による過労死ラインを越えているとの指摘もあり労働環境改善を早急に取り組むよう要望します。

議員 出勤時間や退勤時間の記録がないのが現状です。教育委員会が関与して来なかったのは事実です。超過勤務記録の存在もありません。今後は、勤務管理体制を整備していくよう対応します。

議員 ①県人事委員会から「2016 勧告」による勤務条件改善の要請をどのように受け止めているか。②「適正な勤務環境の確保に向けタイムカード等の勤務管理システム」の導入に向け実効性のある具体的に取り組みを進める必要がある。旨の指摘がなされているが、対応策を伺う。③超過勤務実態記録の3年保存が義務付けされているが徹底されているか。

議員 出勤時間や退勤時間の記録がないのが現状です。教育委員会が関与して来なかったのは事実です。超過勤務記録の存在もありません。今後は、勤務管理体制を整備していくよう対応します。

議員 労働基準法には罰則もあります。何よりも超過勤務による過労死ラインを越えているとの指摘もあり労働環境改善を早急に取り組むよう要望します。

議員 労働基準法には罰則もあります。何よりも超過勤務による過労死ラインを越えているとの指摘もあり労働環境改善を早急に取り組むよう要望します。



新垣 徳正 議員

地域の防犯、交通安全の取り組みは

各地域からの防犯灯、カーブミラー、ガードレールの配置要請に対する優先順位等はその様な状況か。

議員 言葉借りれば、「軍事基地があると言う事は、其処から戦闘機が飛び立ち、多くの子どもたちの命を奪い、多くの血を流れると言う事、その事を人は知るべきです。そしてその責任が自身にもあると言う事を」沖繩に軍事基地が存在すると言う事は、そう言う事だと認識すべきだと思います。

議員 各地域からの防犯灯、カーブミラー、ガードレールの配置要請に対する優先順位等はその様な状況か。

議員 各地域からの防犯灯、カーブミラー、ガードレールの配置要請に対する優先順位等はその様な状況か。

議員 各地域からの防犯灯、カーブミラー、ガードレールの配置要請に対する優先順位等はその様な状況か。

議員 各地域からの防犯灯、カーブミラー、ガードレールの配置要請に対する優先順位等はその様な状況か。

議員 各地域からの防犯灯、カーブミラー、ガードレールの配置要請に対する優先順位等はその様な状況か。

議員 各地域からの防犯灯、カーブミラー、ガードレールの配置要請に対する優先順位等はその様な状況か。



大城 常良 議員

「ニューアル」は平成19年に作成され、本年度一部修正を行っております。

(学校給食) 共同調理場の運営は 議員 本村の児童、生徒に対し毎日、安心、安全な給食を提供していただいておりますが、職員(調理員)の不足が指摘されており、さらに教育総務課長が所長を兼任しているが、所長を置く考えはないか。また、危機管理マニュアルは確立されているか。

教育長 27年度より調理員1名が運営主任として事務業務を行っており、不足の対応は臨時調理員で対処し、新年度には臨時調理員の増員を予定しています。
教育総務課長 所長は現場を統括する意味でも兼務ではなく、調理場に所長を置いた方がよいと考えており、将来的に運営主任を所長にできないか、検討します。また、「危機管理マ

ニユアル」は平成19年に作成され、本年度一部修正を行っております。議員 調理員の方々は業務のサイクル上、食事時間も長くて30分、短い方では15分程度で終わっており、労働環境は多くの改善すべき所があり、児童生徒へ安全な給食を提供するために現場の声に十分耳を傾けて、今後、改善に取り組んでいただきたいと思います。

新庁舎建設

議員 現在の進捗状況と村民の理解を得るために、地震、津波、防災の専門家を招いて、丁寧な説明会が必要だと思いが、伺います。

総務課長 地権者の事業同意の承諾をいただいております。事業者、設計業者の委託契約を行っております。説明会については基本の方向性、議員のおっしゃる専門家を招いての説明会を予定しています。
村長 場所も確定し、プロポーザルで設計も委託先が決まり今後、住民の方々に説明会も含め、早めに進め

公共駐車場整備計画

議員 基本計画の進捗状況を伺います。

総務課長 地権者への説明及び、事業同意取得に向けての説明を行い、用地費・補償費及び、委託費の追加交付申請を行い、実施設計物件調査なども進めていきます。

議員 一括交付金を利用して駐車場用地が本村の財産になるのはいい話だと思いますが、心配しているのはあと四、五年で一括交付金が終了した場合、この公共駐車場はどう利用していくのか、中長期的な計画の中で村民の理解が得られ、今後、本村のさらなる発展につながるような政策を進めていただきたいと思います強く要望します。



石原 昌雄 議員

民泊・民宿 議員 民泊の現状は。民泊を今後どのように支援するか。民泊は取り組むか。

村長 中城村はホテルがありません。民泊には歓迎などがあり、受け入れ家庭の裾野をどう広げるかです。可能性の高い事業ですので、行政としても一歩踏み込んだ形で支援なり、相談事も含めて一緒にやってやっていきたい分野です。民泊の応援をしていきたいと思っております。

議員 民泊受け入れは、修学旅行の高校生で一つの高校の約半分の150人程度ですが、受け入れ民家を増やすことにより多くの生徒が中城村に泊ることができ、本土の若者たちとのつながり

各字公民館の活用拡大

議員 各字の公民館は補助事業などにより環境の良い施設となっております。各種団体の活動利用が主であり、今後は地域の活性化やボランティア活動の場として、常に公民館がオープンしてほしいとの声があります。そのためには書記などの配置が必要ですが支援する考えはあるか。貧困対策の支援箇所として考えられるか。

企画課長 各字公民館は地域づくりの活動拠点、伝統文化の継承、福祉事業、地域の安心・安全の防犯対策、災害時の避難場所などで地域住民の重要な施設であります。書記等の配置は、

西原町が公民館常駐の書記配置自治会に補助をし、北中城村では自治会育成交付金を充当しています。本村の支援は財源等の課題があり現時点では厳しい。
福祉課長 全公民館を活用した介護予防体操で高齢者の健康作りに役立っております。支援箇所として、放課後の居場所学習支援、スポーツ交流を行って自治会があり、今後地域の方々々と調整しながら、子ども居場所事業としても活用できるように進めま

村道井水線の改良計画

議員 区画整理事業の対象外になった地域は、村道整備が遅れています。村道井水線、新田線の改良計画はあるか。

都市建設課長 村道にこぼこがある場合は、維持管理できる範囲でやっています。地域全体から、単線の計画でなく、面整備で全体を整備する計画にしないと土地利用ができません。



外間 博則 議員

環境問題及び整備

議員 津覇小学校（体育館）裏の駐車場周辺に防犯灯が必要と思うが設置する考えはあるか。

教育総務課長 私も早速、

夜更けに津覇小学校裏の職員駐車場のほうを確認しました。その駐車場の周辺は防犯灯がなく、暗い状況にあります。体育館の端の方から水銀灯で照らされていますが、あとはプール側からこの水銀灯で照らせるのか、またその駐車場内に防犯灯の設置をした方がいいのか、小学校側と調整して検討してまいりたいと思います。

議員 児童生徒の父母の方々からの防犯灯の設置の要望もあり、児童生徒が安全に下校できる為にも、是非防犯灯、水銀灯等での対応を要望する。農道勢

理原2号線の改修工事の時期はいつごろか、またいつ予定しているか。

農林水産課長 この工事は、延長的に10メートル程度の工事で、一ヶ月以内には完了すると思います。道路周辺には菊農家、さとうきび農家もおられますので、工事に差し支えないよう出荷調整をしながら順調に工事が進められるように勤めたいと思います。

議員 村内において放置車両があらちちらで見受けられますが、パトロール等を行い放置した方へ通知するなどの指導をどのように行っているか。

住民生活課長 道路、公園など公有地の放置車両については、パトロールや地域からの相談などで把握し警告書の貼り付け、警察への通報や陸運局への照会を行い、所有者が判明した場合には所有者に適正な処分を指導しています。

議員 本村の耕作放棄地は27年度末の時点で206ヘクタールでしたが、現在

農業振興

は多少解消されており、まだ多く散在している状況です。その対策は、

村長 耕作放棄地については、いろいろな策を講じて対策に努めているつもりですが、残念ながら本格的な解決には至っていません。これからも我々ができること、議員の皆様方からの御意見も伺いながら、耕作放棄地対策については、しっかりと策を講じたい。

議員 村内3ヶ所の施設農地で琉大教授を中心に鳥ニンジンの品質改良の研究を行っています。これまでの成果はどうなっているか。

農林水産課長 平成27年6月から特性の調査、今の段階ではあくまでも特性、形質、色等、他の品種種子と市販の種子や渡名喜村の種子と植え付けをし、その成長過程をどう違っているのかという調査をしています。具体的成長とは、品質の固定と、栽培方法の統一ということですので、これは今後、ある程度の期間が必要になると思います。

議員 現在執行中の城跡線整備事業の完了年度は、中城城跡事業完了年度が平成41年度までの計画となっています。



伊佐 則勝 議員

中城城跡と周辺整備事業

議員 中城城跡の整備事業について伺う。

教育長 平成25年度に基本整備計画の見直しを行い、

中城城跡事業完了年度が平成41年度までの計画となっています。

議員 現在執行中の城跡線整備事業の完了年度は、

都市建設課長 平成30年度完了予定で進めています。

議員 県営中城公園整備事業の進捗状況は、

都市建設課長 平成28年度見込みの事業費ベースで用地取得が76%、工事は47%進捗しているとのこと。

今後の県の事業予定は、

都市建設課長 城跡線を公園敷地内の入り口まで村で整備して、その後は西グスク駐車場を整備し、今の廃

正門まで持つていく計画ですが、県としてはまだ駐車場の詳細設計も発注していません。県営公園の完了は30年度を予定していますが、今の工事は進捗が47%、それから大城登又線の村道等の問題もまだ解決していませんので、今の段階ではあと5年は計画が延びると思います。

議員 中城城跡の正門と管理事務所を設置計画について伺う。

企業・観光課長 中城村・北中城村共同で策定した中城間切歴史的環境ネットワーク構想・中城城跡公園基本計画の中で、城跡地区の検討では、現在の場内の進入は城の裏門側の駐車場から場内に入るが、城の構えは城郭の西側が本来の表門の位置である。当計画では表門からの城の展開を図り、広域的なアクセス道路、場内へ進入する駐車場や園路などの見直しを提言しています。既設の建造物の撤去後は、歴史的環境の回復を図りながら、正門と管理事務所は施設整備と併せ

て、検討すべきと考えます。議員 県の事業で進める廃虚関連の情報はないか。都市建設課長 現在廃虚ホテルに関しては、建物の登記等の資料と既存する建物の状況が異なることから、建物所有者同意のもと測量等調査をしている段階とのことです。

奥間斜面部の奥との協議経過

議員 奥間喜納原斜面部の無届伐採について、その後

の県との協議経過を伺う。

農林水産課長 県は事業者の「森の郷おくま」に対し、森林法違反行為の中止及び復旧計画の指導を行い、事業者から復旧防災計画概要書の提出があり、違法伐採区域の復旧計画及び崩壊地の復旧計画と排水・擁壁等施設計画の概要が示されています。今後については、12月21日までに提出される復旧実施計画に基づき県と事業者による協議が行われ、村にも具体的な復旧災害計画が示されるものと考えます。

（5）2017年3月5日 第50号 中城村議会だより



仲松 正敏 議員

吉の浦会館機能強化整備計画

議員 開館して既に23年がたち、耐震性の問題や老朽化によって施設の整備等に多くの課題が出てきておりますが、吉の浦会館の現状と課題について伺います。

生涯学習課長 さまざまな要望、課題はございませけれど、現在、吉の浦会館の機能として不足している多目的トイレ、授乳室の新たな設置やトイレ個数の増などは検討すべきかと考えております。
議員 トイレや音響、照明設備等に対して村民から不満の声が出ているのは大きな問題だと思うが、どのように対処されるか。
生涯学習課長 トイレに関して汚い、臭いイメージを持たれないような管

理はしているとの認識ですが、議員のご指摘のとおり、ご意見があるところから、今後、音響、照明設備も含めて何かしらの検討をして対処できるように考えていきたいと思います。

教育行政

議員 教育の機会均等と公平性として、児童数によって学校間、または生徒間で格差が生じないようにするために、学校の適正規模、適正配置について見解を伺います。

教育総務課長 小学校の適正規模の学校は、学校教育法規則第17条で決まっております。学級数がおおむね12学級から18学級が適正となっております。適正配置は通学距離がおおむね4キロ以内が適正と言われております。
議員 南上原地域においては人口増加に伴い就学前の児童が増え、児童の受け入れに必要な教室の確保が困難となること予想され、校区変更の問題が出ていますが、現在ど

のような状況か。

教育総務課長

中城南小学校の児童数の増加により、校区変更を行っても、南上原地区だけの児童数でも教室が足りない状況にありますので、教室の増築をして、それでも教室が足りないとなると校区変更を検討していかねばならないと考えております。

議員 校区変更については、多くの地域住民や保護者に情報が入っていると聞いているが、住民の不安や混乱を招かないためにも早急に何らかの説明をされるべきと思うが、

教育総務課長

校区変更は増築を終えてからの検討になりますので、増築が終わって教育委員会のどういうふうな仕様ということが決まりましたら、地域への説明会を行いたいと考えております。



安里ヨシ子 議員

待機児童対策

議員 自治体の担うべき児童の保育、待機児童の対策等その役割を認可外保育所が担ってきました。認可外の果たしてきた役割は大変大きいと思いますが、行政はどのように認識していらっしゃいますか。

村長 認可外保育園の方々は大きな役割を持っていると認識している。そういう事で認可園への移行等に親身になって職員一同努力をしている。どちらも同じ子供達、しっかりと子供達のために良くなるようにやっていきたい。
議員 認可外の職員の話だと、公立と認可外の格差を大きく感じられると話しています。中城城跡を見学に行った時、公立

ではない認可外だから有料ですといわれ入園料を払ったとその事についてどのようにお考えですか。
企業・観光課長 心配りが足りなかった。その状況を聞いて対応したい。基本的に未就学の子供達は無料です。お金を取ったという経緯はありえない話でありますので、確認したいと思います。

議員 県の事業で認可外保育施設研修補助事業があります。研修を受けていない園には補助金はないと聞いています。
福祉課長 この環境整備事業費は研修を受けた保育所に限り補助金が出ています。

議員 認可外では本人が病気でない限り休めない、まして保母さんが一人ぬけて研修に行けない事もあります。那覇市は同じ研修を三回も行っているそうです。担当者が工夫すれば漏れのない対策ができるとおもいます。保育所では六人に一人が気になる子どもがいるそ

うです。年一回でいいので、臨床心理士を配置してほしい、気になる子供の相談のつてほしいと園からの強い要望です。

介護保険

議員 本人が非課税で同じ世帯に住民税課税者がいると保険料が二倍になるサービスも二倍になる。課税者は自分の保険料と同居の非課税者の保険料を払わないといけない税金の二重どりにあたらないか。

福祉課長 本人は非課税でも課税世帯という事で保険料が高くなっております。標準は九段階ですが、負担能力に細かく対応できるように十二段階に設定しています。





新垣 貞則 議員

住みよい久場地区を

議員 久場地区は泊地区の排水対策、今後の取り組みと拝所案内板を設置する方法は。

都市建設課長 排水をスムーズに流水するように県

港湾課と占用申請協議を行い、今年度の予算で施工できるように努めてまいります。

生涯学習課長 拝所の説明板は、平成29年度に久

場地区の調査を行い重要性の高いものを村の指定文化財として指定を行っていき、その上で看板設置等を検討してまいります。

健康長寿社会実現へ

議員 飛騨高山市では、各地域に健康づくりウォーキングコースを設置しています。ウォーキングは健康にどういった効果があるとされていますか。

福祉課長 ウォーキングは有酸素運動に分類されます。その効果として、体脂肪の燃焼、血液の循環が良くなり、それで脳の血流もよくなり、認知症にも効果があります。

議員 現在、老人福祉センターは、40年経過して、事務所は雨が降ったら雨漏りし、事務所は亀裂があつて凹凸しています。(仮称)護佐丸健康センターをつくり、村民一人一人が健康に暮らせる社会を目指して、老人福祉センター建設基金とか考えていますか。



施設内の亀裂

福祉課長 老人福祉センターの建て替えになると思いますが、現在のところ予定はありません。

人材育成強化で中城村の活性化を

議員 中城村の高校生5名が岩手国体選手として出場しました。こうした全国で活躍している生徒達を

指定して、2020年「東京オリンピック」に参加させる為に、トップアスリート応援基金を設立する考えは。

生涯学習課長 村単独では限界があると考えています。国・県においてはオリンピック選手輩出事業なども取り組んでいます。支援方法についても検討したいと考えています。

議員 生徒たちにオリンピックの「夢」を、お年寄りには「健康」を図るために、次年度の吉の浦公園整備計画の中に、600m・1200mウォーキングコースを全天候型にする考えはないですか。



ウォーキングコース提案(黄:600M・赤:1200M)

村長 次年度から行う吉の浦公園整備事業計画の中にこれが取り入れられるかどうか含めて、しっかりと検討させていただきます。



仲眞 功浩 議員

音楽専科の教諭がいらない

議員 中城小学校、津霸小学校には音楽専科の担当が配置されてなく、支障をきたしていると聞いているが、現状、今後の対応は。

教育長 両小学校とも13学級で、専科担当は1名の配置となるため、両小学校では音楽ではなく理科専科の担当を配置しています。対策としては、音楽指導ができる教諭を優先的に配置してもらおうよう中頭教育事務所に要請しています。

議員 両小学校が2名の専科配置の対象となる18学級になる見込みはあるのか、あるとすればいつ頃か、教育総務課長

議員 平成34年度までの検討ですが、現状かそれより下がる見込みです。そうであればもう対

処療法では対応できない。教育上非常に大きな問題だ。長年にわたってこのような状況が避けられないことがはつきりしているならば、それに対する対策が必要と思うが。

教育長 先ほどお答えしましたように、音楽指導ができる教諭の配置を中頭教育事務所に強く要請しており、特に中城小学校、津霸小学校へは学級担任をしながら音楽の指導もできるという要望をやっています。

村費で非常勤・臨時教員を

議員 中頭教育事務所への要請で問題解決を図るのはたいへん厳しいと思う。村費で両小学校を担当する、非常勤の講師とか臨時の教員とかの採用は可能か。

教育長 可能性はあると思います。中頭教育事務所の担当者とも相談の上、そのような措置もできるかと思っています。

議員 村費を使えば、音楽専科の問題は解決できる問題だ。中城南小学校に音楽専科の教諭がいて、中

城小学校、津霸小学校にそれがいないというのは子供たちにとってふびんな状況だ。大きな予算額にはならない。村長としてもそのような状況を避けていたために真剣に考えて頂きたい。

中城ジュニアオーケストラ

議員 中城ジュニアオーケストラの団員数と中城村出身の団員は。

生涯学習課長 団員数63人のうち村の出身者は30人となっております。内訳は、小学生4人、中学生9人、高校生17人です。

議員 たいへん厳しい状況だ。高校生が卒業していったらどうなってしまうのだろうか、中城ジュニアオーケストラの存続さえ危惧してしまいます。やはり小学校における音楽専科の必要性を感じます。伝統ある中城ジュニアオーケストラ、そこに中城の子ども達を一人でも多く入団させる環境を作る意味からも、村長には改めて予算措置を強く要望します。

平成 28 年 12 月定例議会

可決 平成 28 年度一般会計補正予算（第 5 号）
議案第 54 号
補正額：5,151 万 4 千円 総額：70 億 8,858 万 3 千円

可決 土地区画整理事業特別会計補正予算（第 2 号）
議案第 55 号
補正額：7,000 万円 総額：7 億 1,357 万 6 千円

採択 公共下水道事業特別会計補正予算（第 2 号）
議案第 56 号
補正額：308 万円 総額：3 億 6,821 万 2 千円

可決 税条例等の一部を改正する条例
議案第 51 号

可決 国民健康保険税条例の一部を改正する条例
議案第 52 号

可決 中城村北中城村清掃事務組合規約の一部を変更する規約
議案第 53 号
（平成 26 年 12 月 11 日沖縄県指令企第 408 号）の一部を変更する規約

可決 物品購入等の契約
議案第 57 号
サッカースタッフベンチ 4 台購入業務 契約の金額：712 万 8 千円 契約の相手方：中頭スポーツ

可決 村道中城城跡線改良舗装工事（9 工区）請負契約
議案第 58 号
契約の金額：8,618 万 4 千円 契約の相手方：(有)ヒロ建設・仲真設備工業

採択 過度な競争になっている「学力推進運動」を改め、子どもたちに豊かな教育を求める
陳情第 13 号

不採択 監査委員への税理士登用について
陳情第 19 号

不採択 不服申立期間（第三者機関）委員への税理士の登用について
陳情第 20 号

採択 平成 29 年度福祉施策及び予算の充実について
陳情第 23 号

採択 子どもの医療費助成への「罰則」廃止と、国の制度化を求める
陳情第 24 号

採択 貧困をなくし、子どもの未来を保障する対策を求める
陳情第 25 号

平成 28 年 12 月 9 日～ 12 月 16 日

第 7 回中城村議会定例会に上程された議案、陳情、決議、意見書

採択 「無料定額診療事業の保険薬局への拡充を政府に求める意見書」提出を求める
陳情第 26 号

採択 介護保険制度の見直しに対する陳情書
陳情第 27 号

採択 「要介護1・2」の「一部保険給付からの除外」を中止し、安心、安全の介護保障を国の責任で実現するよう求める
陳情第 28 号

採択 安全、安心の医療・介護の実現と夜勤交代制労働の改善を求める
陳情第 29 号

採択 「介護従事者の勤務環境改善及び処遇改善」を求める
陳情第 30 号

採択 地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書
意見書第 18 号

採択 米軍新型輸送機オスプレイ墜落に対する意見書（全会一致）
意見書第 19 号

採択 米軍新型輸送機オスプレイ墜落に対する抗議決議（全会一致）
決議第 6 号

第 6 回臨時議会

平成 28 年 11 月 25 日

可決 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
議案第 46 号

可決 特別職の職員で常勤のものものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例
議案第 47 号

可決 議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
議案第 48 号

可決 平成 28 年度一般会計補正予算（第 4 号）
補正額：1,033 万 2 千円 総 額：70 億 3,706 万 9 千円
議案第 49 号

可決 国民健康保険特別会計補正予算（第 2 号）
補正額：91 万 1 千円の減額 総 額：28 億 9,855 万 2 千円
議案第 50 号

米軍新型輸送機オスプレイ墜落に対する抗議決議

12月13日午後9時50分ごろ、名護市安部の沿岸部に夜間給油訓練中の普天間飛行場所属の垂直離着陸機MV22オスプレイが墜落した。

本土復帰以後、県内での米軍機墜落事故は今回を含め48件、今回の墜落事故は起こるべくして起きた事故にほかならない。県民の命を軽視することに対し激しい怒りを禁じえない。さらに、安慶田副知事の抗議に対し、在沖米軍のトップ、ニコルソン四軍調整官の対応は、沖縄はアメリカの所有物であり、植民地であるがごとく、墜落したことを肯定し、あろうことか「被害がなかったことに感謝すべきだ」とまで言い切った。これは県民の感情を踏みにじるものであり、言語道断である。

米軍新型輸送機オスプレイは、2012年10月、普天間飛行場に配備された。開発段階から墜落事故が相次ぐなど安全性への懸念から、配備前の2012年9月には配備に反対する10万人規模の県民大会が開かれたが、米軍が配備を強行し、現在24機が配備されるに至った。本村上空も日常的な訓練飛行が行われている。これまでも幾度となく繰り返される米軍機事故の抗議に対し事故原因の究明、再発防止策への何の手立てもなく訓練を続けてきた。日常的に米軍基地と隣り合わせの生活を余儀なくされている沖縄県民にとっては、一歩間違えれば生命・財産にかかわる重大な事故につながることは明白であり、大きな不安と恐怖を与えるもので、これ以上一切の飛行を容認できない。

よって本村議会は、村民及び県民の生命・財産・安全を守る立場から関係機関に対し厳重に抗議するとともに、下記事項について強く要求する。

記

1. 今後一切米軍機の訓練飛行の中止を求める。
2. オスプレイを含む全ての米軍機の飛行中止と配備撤回を求める。
3. 在沖米軍の全面即時撤退を求める。
4. ローレンス・ニコルソン四軍調整官の更迭を求める。

以上、決議する。

平成 28 年 12 月 16 日

沖縄県中城村議会

送付先

駐日米国大使 在日米軍司令官

在沖米四軍沖縄地域調整官 在沖米国総領事

中城村議会議員の報告



比嘉麻乃議員、仲眞功浩議員が加わり 16 議席が揃う



上段左より、新垣徳正議員、外間博則議員、仲眞功浩議員、新垣貞則議員、仲松正敏議員、石原昌雄議員、新垣博正議員、仲座勇議員
下段左より、新垣善功議員、伊佐則勝議員、大城常良議員、安里ヨシ子議員、與那覇朝輝議長、比嘉麻乃議員、宮城重夫副議長、金城章議員

村民の皆様、平成 28 年 6 月 5 日に村議会補欠選挙が行われ、新たに、2 名の議員が決定し、16 名の議員が出揃いました。新年度に向けて、村民の期待に応えるべく、議員一丸となって中城村の更なる発展に邁進してまいります。

今後とも宜しくお願い申し上げます。

沖縄県町村議会 広報研修会 個別クリニック

平成28年11月16日 自治会館

議会広報研修会を開催した。今年も講師に越地真一郎氏（熊本大学客員教授）をお招きし「～個人からチームプレー型の編集体制へ～」と題して研修会を行った。越地講師が「日本一」最優秀賞：山形県川西町議会だよりから議会広報の基本姿勢や「議会だより」の重要性について講演した。



「議会の役割・存在感発揮を」

紙面作りにおいて大きく分けると①議会としての存在感（役割）をアピール。②チームプレー（議会全体での取り組み）を重視。③第三者の目（客観性）を導入。

その中で越地講師は、議会だより作成の心構えとして、①議会ならではの視点、議会広報としての存在感を。②自治体広報（PR）との差別化。一方で連携、調整も↓広報審査委員に村広報担当者。③議案決議に至までのプロセスを重視。④企画、特集記事の重視。⑤一般質問ページの見直し。⑥若者を意識した編集↓広報審査員に専門学生。⑦議会を身近に感じるコーナー。⑧モニター制、サポーター制の導入。⑨広報（編集）委員会の役割分担が大切であるなど事例を示しながら分かりやすく解説した。

各町村ごとに個別クリニック

個別クリニックでは、越地講師から中城村の「議会だより」は議案報告と一般質問のみで構成されており、硬い印象を受ける。住民が議会をもっと身近に感じるコーナーの企画もほしい。

- 一般質問の重要性から、一人に1ページの広報が主流となっているが、要は内容の問題だろう。ただ一人当たりスペースが狭くなる分、掲載項目の取捨選択と無駄のない表現が求められることになる。
- 紙面に作者の紹介があるが、せっかくなから何かコメントがほしい。

研修の経験をいかして、「議会だより」の題字にはコメントを掲載することにした。各町村ごとの「議会だより」の企画、特集の仕方」を学ぶことができました。越地講師から、各町村のそれぞれの成果を評価してもらい、きめ細かいクリニックを行っていただき有意義な研修会となった。



編集後記

村民の皆様、平成29年、良い新年を迎えられた事とお喜び申し上げます。

村民の皆様の健康を維持していただきたく認知予防についてお話ししたいと思います。食事は生きていくために必要な最も自然な栄養摂取の手段であります。体を維持する、内蔵の機能を維持する、筋肉や骨を維持する、良い食事が元気の秘訣であります。しかし、高齢になるにつれて栄養不良、動かない、加齢、炎症、ホルモンの変化等で筋肉の減少（サルコペニア）が起こり、運動能力の低下、転倒、骨折のリスクが多くなり、さらに認知症の発症率も高くなります。食事に気を使い、良い栄養をとっていつまでも元気で楽しく暮らしていただきたいと思えます。

（外間 博則）

議会だより編集委員



外間 博則	新垣 貞則	大城 常良	仲松 正敏	石原 昌雄	比嘉 麻乃
-------	-------	-------	-------	-------	-------

題字提供者



ゆうと
金城 湧人さん

コメント
図書館を作ったり有名人を呼ぶお金があるんだったら中学校の設備（特にトイレ）を良くしてほしい。

題字募集!

「ぎかいだより」の題字の募集をします
（ぎかいだよりの文字を横書きと縦書き）

中城村の児童・生徒のみならず、上手いも下手も関係ありません！あなたの字のままでいいんです

お問い合わせは中城村議会事務局（☎098-895-4318）まで